ninoyu satoshi
発行所：みんなで政治を考える会
〒615-0062 京都市右京区西院坤町2
ケイハンシティビル601
TEL.075-315-2228 FAX.075-315-2310
発行人：二ノ湯 智
国会事務所
〒100-8962 東京都千代田区永田町2-1-1
参議院議員会館632号室
TEL.03-3508-8632 FAX.03-5512-2632

えとす(Ethos)とは、文化や習慣を意味し、豊かな精神をはぐくみ、平和を希望する言葉です。　題字：栢木寛照

えとす

年間購読料 1,200円(一部100円)
第3種郵便物認可 平成2年1月18日
口 座 01000-4-62360
平成20年 No.209 11月号

京都の智恵を日本に活かす。
二ノ湯智ホームページ http://www.ninoyusatoshi.com

麻生総理、政局より政策を優先
先送りされた解散・総選挙

今一つ緊張感を欠く国会

11月18日公示、30日に投開票と誰もが既成事実のように思っていた。その日程に合わせて予定候補者は連日、選挙区内を走り回り、支持の拡大に努めてきた。そこに降って沸いたようなアメリカを震源地とする突然の金融危機。それに伴う世界的な株価の暴落。世界の金融システム、経済の相互依存関係の広がりを考えると、1929年の世界恐慌とは比較にならないほど全世界に与える影響は深刻である。100年に一度の経済危機、大津波といわれているが、決して言い過ぎではない。経済が大混乱している時、総選挙を行い政治空白を作るべきではないという声が各方面から挙がってきた。麻生総理も国民の生活不安を解消するために政局よりも政策が重要と判断、当面解散をせず、生活対策に全力を尽くすことにした。しかし、党幹部はあちこちの会合で、決して油断せず、気を引き締めて常に選挙に備えておくようにとハッパを掛けている。予定候補者にとっては気の休まる暇がないつらい年末、年始になりそうだ。

準備をすすめていた立候補予定者の選挙事務所(京都4区)

恒心

★安政5年(一八五八年)、福沢諭吉が江戸鉄砲洲(現在の中央区明石町)で慶応義塾を開いてから、今年で150年を迎える。去る11月8日、天皇皇后両陛下ご臨席のもと、150周年記念式典が盛大に行われた。一私立大学の創立記念式に天皇皇后両陛下が出席されるのは極めて異例なことではないか。★創立以来、慶応義塾が若者を教育し、政界、財界、教育界をはじめ各界各層に有為な人材を送り、日本の近代化、発展に大きな役割を果たしたことを考えると、両陛下のご臨席もなるほどと頷ける面もある。★私は記念式典には参加出来なかったが、翌日、クラス会が開かれ、卒業後初めて、40年ぶりに日吉キャンパスを訪ねた。新しい校舎が建ち並び、昔の面影はほとんどなかった。緒方洪庵の「適塾」の大部屋で、雑魚寝しながら猛烈に勉強した福沢先生が見たら、びっくりするような立派な建物群である。★「天は人の上に人を造らず、人の下に人を造らず」は福沢先生の有名な言葉である。人間は生まれながらに平等であるが、人生で貧富の差、身分の差が生まれるのは、学問をするか、しないかによると「学問のすすめ」の中で強調された。福沢先生の言う学問は、机上の学問、空理空論ではなく、いかに社会に有用な学問、つまり実学の重要性を説いた。昨今、都市と地方の格差が大きくなってきたと言われる。地方の再生には人材が鍵である。今こそ、福沢先生の「学問のすすめ」に学んで、地方においても独立心の強い、高い志を持った優秀な人材を造らなければならない。

参院外交防衛委員会
田母神前幕僚長、参考人招致

平成7年8月15日、村山内閣は「戦後50周年の終戦記念日にあたって」いわゆる「村山談話」を発表、談話の中で、「わが国は、遠くない過去の一時期、植民地支配と侵略によって、多くの国々、とりわけアジア諸国の人々に対して多大の損害と苦痛を与えました」という反省とお詫びの気持ちを表明した。村山談話が先の大戦に関するわが国の公式な歴史認識となって、その後の内閣は、村山談話を尊重、遵守することが義務づけられている。閣僚はもちろん、政府高官も当然村山談話の制約を受けることになる。ところが、田母神（たもがみ）俊雄防衛省航空幕僚長が民間会社の懸賞論文に応募し、日本は決して侵略などしていないと政府見解と違う意見を展開した。政府は防衛省、自衛隊の信頼を損ねたとして幕僚長を急遽更迭した。中国、韓国に気兼ねしたのか、まるで臭いものに蓋をするような感じである。11月11日、参議院外交防衛委員会に参考人として呼ばれた田母神前幕僚長は自分の意見は政府見解の範囲内で決して逸脱していないと自己の信念を曲げず堂々とした態度であった。中でも「自分の国はいい国だと言ったら解任され、悪い国だといったら褒められる。おかしな国だと思います」と答弁したのが大変印象的であった。

答弁する田母神前幕僚長

第二次「生活対策」

10月30日、麻生総理は「生活対策」と名づけた緊急経済対策を発表した。その中から主な対策の問題点を探ってみた。

☆手間ひまかかる定額給付金

10月30日、すべての世帯に一定額を給付すると麻生総理は記者会見で発表した。しかし、与謝野経済財政担当大臣が2、3千万の高額所得者まで給付するのはバラ撒きという批判を受けると発言、一方中川財務・金融担当相は所得制限を設けると事務が煩雑になると反論、閣内でも色々と意見が分かれていた。結果的には、一人当たり1万2千円、18才以下、65才以上は8千円を加算することになった。所得制限を設けるかは、１８００万円を目安に給付の窓口となる**市町村の判断**にまかせることにした。政府は11日、総務省に「生活支援定額給付金実施本部」を設置、給付金の支給方法の検討や市町村との調整を行うが、窓口となる地方自治体の協力なしに、スムーズに実施することは出来ない。年度末、市町村の業務は大変忙しく、定数削減で通常の事務だけで精一杯である。煩雑で、厄介な仕事を押し付けられた自治体にとって大変頭の痛い問題である。迅速、簡潔な支給、実効ある成果を期待するには、国も実務を行う市町村の意見に謙虚に耳を傾け十分な理解を求める必要がある。

☆妊婦検診の無料化回数の増加
少子化対策の切り札になるか

救急車でたらい回しにされた妊婦が母子手帳を持っていなかったケースがあった。妊婦が産婦人科で診察を受けると1回、約1万円の診察費が必要となる。初期の段階では色々な検診をするために診察費が高くつき、出産直前まで産科の検診をためらい、それが母子手帳を持たない理由の一つだと指摘されている。そのため、女性が経済的負担を心配せず、妊娠すれば無料で検診を受け、安心して出産出来る環境を整備することは、少子化対策の上から考えても非常に重要な施策の一つである。今回の新経済対策では公費負担を拡充して、妊婦が無料で検診を受けられる回数を従来の5.5回から14回まで増やすことになった。分娩費も見直されて、現行の35万円に3万円上積みして、38万円を給付することに決定した。今回の無料検診回数の増加と分娩費の上積みが少子化対策として、どれだけ効果があがるのか注目される。

☆中小零細企業の資金繰り対策
頭の痛い業種の認定

原材料の高騰、金融危機、株価の大幅な下落によって経済情勢が急速に悪化、とりわけ中小企業の経営は非常に厳しい状態に陥っている。政府は中小零細企業の資金繰り対策を強化するために、10月31日から都道府県の信用保証協会による緊急保証と、政府系金融機関による貸付規模を大幅に拡充した。緊急保証の対象業種を185から618業種まで拡大した。これでほぼ全業種が認定の対象となると政府は強調しているが、地方の現状が十分に反映しているとは言えず、現実は政府の主張している通りにはなっていない。中小零細企業は1業種だけでなく、色々な仕事をしながら会社を経営しているのが実情である。たとえば自動車修理業を経営している会社は修理だけでなく、板金、塗装もしているし、自動車の販売、損害保険の代理店の看板も掲げている。色んな事業を兼業している会社が多いのが実情である。窓口の金融機関、保証協会も融資申請のあった会社が今回の618の対象業種に入っているのかどうか、どの業種になるのか、認定に頭を悩ませている。しかも非常に多くの融資申込みがあり、保証協会は事務作業に追われて審査業務がかなり滞っている状態である。この調子では、中小零細企業へ年末の運転資金が遅滞なく供給できるのか少々心配である。二ノ湯参議院議員はさる11月4日、京都府信用保証協会に竹内理事長を訪ね、経営に苦しんでいる中小零細企業のために、出来るだけ速やかに融資を実行するように要望した。

京都への思い

（天江喜七郎元外務省関西担当大使）

再び秋が巡って来た。京都に参り一年が過ぎようとしています。凛とした早朝の冷気漂う哲学の道辺りを散策したり、住いの裏手にある大文字山に登ったり等して、古都の秋を独り占めするという至福の一時に、嘗て経験したことのない安らぎを覚えています。

そんなある日、黄金色に美しく色ずいた銀杏を枝ごと切り落とす光景を目にしました。理由を聞けば、落ち葉の清掃が大変だとか、車がスリップする等、全ては人間の都合であり、神が与えて下さった美しい秋の情景を台無しにしているように思えました。丸裸となった銀杏並木は屍の群れのようで何とも哀れに映りました。

仕事の関係で、又個人的にも海外からの客人や、在京の大使夫妻等を案内することがあります。神社仏閣を訪ね伝統文化に触れ、その素晴らしさに皆満足して下さる。一方、四条通りの一等地にあるパチンコ店やコンビニエンスストアのけばけばしい外観や看板に目を見張り、「何故このような処にこのようなものがあるのか？住民や行政は何も言わないのか？」という指摘を受けることもしばしば。確かに京都には人々を魅了する素晴らしいスポットが沢山あります。しかし、その点と点を結ぶ線である町並や景観というものを国際レベルでもっと考えなければならないと思います。電線・電柱も問題です。ロンドン・パリ・ニューヨークではそれらを地中に埋め美しい街並みを作り出しています。

また、寺院の拝観料についても指摘を受けたことがあります「拝観」という言葉が祈りの場・聖域に相応しいものであるか否か、私自身もこの言葉に抵抗があります。ヨーロッパのある教会で入場時の服装の注意や、祈る人々の邪魔にならぬようにとの指示がありました。神社仏閣はディズニーランドのようなテーマパークとは異なる聖域であることを人々に理解して頂く努力を関係者に考えて頂きたいと思います。

京都に住まう者達は、千二百年の歴史の上にただ胡坐をかいているだけで良いのでしょうか。日本各地から、世界から訪れる人々の目は厳しいものがあります。見て見ぬふり、臭い物に蓋をせず、世界の観光都市としてしての京都の在り方を探らねばならぬ時が来ていると思います。

百聞は一見に如かず 素顔の北朝鮮を訪ねる

去る10月18日～21日の3泊4日、府会議員有志で北朝鮮を訪問した。京都府議会には日朝友好議員連盟があるが、昨今の両国間の緊張関係の中で活動を休止している。しかし、過去に培われていた先輩議員の個人的な信頼関係により、今回の訪朝が実現した。マスコミ等で見聞きしているが「実際はどうなんだ？」という興味から、私も訪朝団に参加した。

直行便がなく、中国の瀋陽経由のため、関空から平壌(ピョンヤン)までは約12時間かかった。空港で携帯電話は一時没収である。TVでは、NHKやBBCなども見られたが、同じ番組が繰り返されていることがあった。情報統制は厳しい。そして、学校にはどの教室にも金主席・総書記親子の肖像画が飾ってある。主体思想(チュチェ)が、幼い時から教え込まれている。夜の平壌は真っ暗である。街灯は殆どない。滞在中、瞬間的な停電が数回あったので、電力事情は厳しいようだ。また、トイレの水も流れないことが多い。道路もガタガタで、社会基盤はかなり遅れている。乗り物は、トロリーバス、電車、地下鉄が交通の主力だが、京都市交通局のバスが走っていたのには驚いた。意外にも、街では人々が自由に外出し生活を満喫している様子で、ビールや焼酎・コーヒーなど嗜好品もたくさんあった。休日の農村ではのどかな運動会も行われており、日本のTVで見るような極貧の光景には出会わなかった。街中を散歩したかったが、旅案内を務めてくれた現地の方に「一般人は反日感情があるので止めた方がいい」と言われた。一日だけ、早朝に一緒に散歩してくれたが、写真撮影は自粛を求められた。向こうでは、欧米からの観光客もたくさんいた。また、日本からは群馬県からの一行の他、東大名誉教授や女性の芥川賞作家にも会った。板門店の民兵らは「国交回復には拉致問題の解決が不可欠だ」というこちらの主張に、「朝鮮植民地支配の賠償が先だ」と答えた。土産物屋では『アメリカはテロ国家だ』という日本語の本を発見した。歴史認識の隔たりは大変大きい。東アジア情勢の安定のために、今後相当な外交努力が必要だと痛感した。

板門店で民兵と

府議会議員　**二ノ湯 真士**

新春招福バスツアー 第22回 伊勢神宮初詣

◇旅 行 日　平成21年1月12日（月・祝）
◇昼食場所　賢島『宝生苑』
◇申込締切日　平成20年12月12日㈮
◇会　　費　8,500円
◇申込先　後援会役員または
二ノ湯さとし京都事務所まで
TEL(075)315-2228
FAX(075)315-2310

恒例の伊勢神宮初詣。一年間の幸福を祈願し、
新たな気持ちで新年を迎える行事として、
多くの方々のご参加をお願いいたします。

参議院議員 二ノ湯さとし後援会

二ノ湯しんじ 後援会旅行会のご案内

◆日　　時　平成21年2月22日㈰～23日㈪
◆参 加 費　31,000円
◆コース概要（予定）
1日目:
京都→出石観光→湯村温泉（佳泉郷・井づつや）
2日目:
湯村温泉→天橋立→伊根湾巡り→京都

二ノ湯さとし後援会の皆様も是非ご参加ください

参議院議員 二ノ湯さとし事務所 TEL(075)315-2228 FAX(075)315-2310

歩くことは健康の基本

第185回 みんなで歩こう湯歩会

・日　　時：11月30日㈰
・集合時刻：午前8時30分（時間厳守）
・集合場所：京都駅中央改札口（烏丸側正面）
JR湖西線8時41分発に乗車します
・コ ー ス：JR坂本駅→日吉大社参道→滋賀院門跡→慈眼堂→日吉大社→西教寺→JR坂本駅解散

。今回は晩秋の近江路を訪ねます。琵琶湖を遠くに望む情緒あるコースです。

（当日）☎090-1956-7460

歩こう会実施有無についてのお知らせ
今後は降水確率に基づいて決定します。
当日のNHK総合　午前6：55頃の天気予報で京都南部降水確率40％以上の場合は中止とさせていただきます。ご理解をよろしくお願い致します。

身辺雑記

一、今年の国内産マツタケの収穫は例年よりも良かったらしい。しかし、中国、北朝鮮からの輸入が途絶えたために、品薄状態になり、値段が高騰、庶民の口にはなかなか入らなかった。ないとなれば食べたくなるのが人間の心理。

一、歌手のフランク永井さんが亡くなった。空前のヒット曲「有楽町で会いましょう」は、今でもカラオケの人気曲。あの唄で東京に憧れた人も多かった。夢と希望に溢れていた時代の人気スターがまた一人消え去った。

一、秋の京都。観光客で市内はごった返し、どのホテルも満室の状態らしい。しかし、夕方の一流ホテルの喫茶室は人影もまばら、弁当の持込で、ホテル内のレストランもガラガラ。観光客の財布の紐は非常に固い。

一、オバマかマケインか、一年余りにわたって続いたアメリカ大統領選挙。初の黒人大統領オバマの誕生で決着がついた。一昔前まで、黒人大統領の出現など誰も想像もしていなかったのではないか。アメリカが大いに変わって、世界平和に大きな役割を果たして貰いたい。

一、母親が昨年米寿を迎えた。遅ればせながら、今月兄弟、孫が集まってささやかな祝いの会を持った。大正半ばに生まれた母親は戦争、子育て、夫（私の父）の商売の失敗、そして脳梗塞で半身不随となった夫の十数年の看病と苦労の連続であった。一日も長く元気にいてもらいたい。

一、はねた人を3キロにわたって車で引きずって死亡させた犯人が大阪府警の丹念な捜査によって逮捕された。犯人は無免許運転（取消）で、飲酒運転をしていたとのことである。最高に厳しい罰則が下されることを望みたい。

「えとす」購読のお願い

月刊誌「えとす」は
毎月一回の発行です。
毎月ご希望の方は、郵便口座振替にて、
ぜひお申し込み下さい
年間購読料　1200円
郵便振替口座 01000-4-62360
口座名：みんなで政治を考える会

── お問い合わせ先 ──
二ノ湯さとし事務所
電話　075-315-2228

ホームページを開設いたしました
http://www.ninoyusatoshi.com

「新政経懇話会」入会のお願い

「新政経懇話会」では、機関紙「えとす」の発行をはじめ、二ノ湯さとしの政治活動をご支援いただける会員を募集しております。
是非、二ノ湯さとしの政治理念と主張にご賛同いただき、ご入会下さいますようお願い申し上げます。

新政経懇話会　年会費　1万円

入会申込・お問い合わせ先
二ノ湯さとし事務所　☎075-315-2228